

平成 22 年度岩盤備蓄基地に係る保安検査基準等検討分科会

第 1 回議事録

打 合 せ 日 時	2010年12月20日(月) 14:00~17:30	
打 合 せ 場 所	高圧ガス保安協会 第1、第2会議室	
出席者	委 員	駒田主査、稲田副主査、小野、徳永、山田、和田、萩原、渡辺、阿子島、天野、征矢、領家、藤林、近藤
	オブザーバー	寺門、中野
	事 務 局	松木部長、長沼、須知 (以上19名参加)
確 認 欄		

【配布資料】

- (1) 資料-1 平成21年度第2回分科会議事録
- (2) 資料-2 保安検査基準(案)(液化石油ガス岩盤備蓄基地関係)
- (3) 資料-3 定期自主検査指針(案)(液化石油ガス岩盤備蓄基地関係)

【議事内容】

1. 開会

事務局より定員15名中、14名の出席であり、委員会が成立している旨の報告がなされた。

2. 配布資料確認(資料番号1~3)

3. 資料1 議事録確認

- ・松木部長挨拶の6行目「校正」は「構成」に修正する。
- ・5. の5行目「定期自主検査指針(案)では……を残す。」は保安検査基準(案)と同様削除した方が良い。
→本日の委員会の資料では削除している。
- ・議事録を承認する委員は挙手をお願いする。
- ・全員の挙手により承認された。

4. 保安検査基準(案)及び定期自主検査指針(案)(資料2、3)

- ・今回の資料は、METI 審査小委員会の指摘により、コンビ則等の保安検査基準等が記載方法を変更していることに合わせて変更したため、前回の委員会資料の書式から大幅に変更となり、前回の議事録との整合がとれていない点があるので了承していただきたい。
- ・p.1「岩盤貯槽(特定設備)」と「その他の地下設備」を総称して「液化石油ガス岩盤貯槽」としていたが、コンビ則で定義されている「液化石油ガス岩盤貯槽」とを区別するため、総称としての「液化石油ガス岩盤貯槽」は使用しないこととした。
- ・P.1「金属管地上部分の破損防止措置」を「防護構等」と定義した。

- p.11 の区別がつきにくいので、一般構造物と液化石油ガス岩盤貯槽とを別けて記述した。また、「3.3.3」は「3.2.3」の誤りである。
- p.11 3.2.3 b) 「水没部を除く」は範囲がわかりにくい。
→「目視可能な部分（気液界面近傍を含む。）の」に修正する。併せて、3.2.3 a) 2 行目の「（目視で検査が可能な部分に限る。）」及び p.12 の 1 行目の「注 1）」を削除する。
- p.13、4.2.1 の 2 行目、「4.2.5 の耐圧試験」は「4.2.5 の耐圧試験等」に修正する。
- p.13、4.2.2.1 で岩盤貯槽は検査の適用を受けないため、金属管の目視検査を金属管の腐食防止措置の項で取り扱うこととした。
- p.16、2)の「附属書 4」の文字はゴシック体ではなく明朝体がよい。
→了解した。
- p.18、4.3.1.1 は以下のように修正する。
漏えい等の異常のないことを次により確認する。
 - a) 貯槽内圧の状況
 - b) 金属管第一フランジへの発泡液の塗布
 - c) 配管竪坑内の水面の状況（連続した気泡の有無）
 - d) 水封機能における地下水位等の記録
 - e) ガス漏えい検知器の作動の有無
- 5.1.2 及び 5.1.3 は、何らかの方法で機能確認をする必要があるのでは。
→超音波液/界面計には自己補正機能を有している。液面計については関税法上で検査を受ける必要があり、界面計についてはポンプが連動して作動していることを考慮して、記載方法を含め検討する。
- p.27 電気防食と坑水管理との位置づけがわかりにくい。
→6.11 に説明文を挿入することを検討する。
- p.27 金属管の腐食防止措置には、金属管のコーティングも防食対象となっているのでは？
→コーティングは工事中の対策として考えているだけと聞いている。再度調査する。
- p.27、6.11.1 電気防食による腐食防止措置における目視検査、記録確認、機能検査の各記述内容に相互関連があり、記述方法を見直すべきである。
→検討する。
- p.28、6.12.2 で 5 年としたのは緊急遮断装置（貯槽配管）に合わせている。また、「5 年に 1 回」は「5 年以内に 1 回」に修正する。
- p.35、9 行目の「現在は」は「2009 年からは」に修正する。
- p.37、B.4 の 2 行目の「製造許可及び完成検査において適切であると判断され、かつ、それが維持されていること。」は「適切な状況であること。」に修正する。
- p.37、B.5 の a) 及び b) の冒頭に「本文における」を追記する。
- p.61 の図中に「余裕水位」の記載がない。また、「最低水封水位」とは何か。
→「バッファ」を「余裕水位」に修正する。「最底水封水位」を「限界地下水位」に修正する。
- p.63 「隙間」、「すきま」、「すき間」が混在しているので統一すべき。(GODtest^{*1}) の「* 1」
なにか。
→統一していく。「* 1」は削除する。
- p.64 図注に逆止弁の記載がない。

→記載する。

- p.66、*2の「水質変化」及び「バクテリア対応」の後に「等」をつけた方が良い。

→「等」を追記する。

5. 今後の予定

- 本日の会議により、検討事項及び修正事項が多々あるので、分科会を再度開催することとし、委員会の日程を調査し、案内させていただく。

以 上